

7月6日（木） 小中合同学校保健安全委員会

小・中合同学校保健安全委員会を行いました。

これまでの委員会では、子どもたちの健康・安全について、大人による熟議が行われてきましたが、今年度は、小学校6年生と中学校1年生が、ともに自らの健康等について考えるグループワークの時間を設けました。テーマは、児童が自分の生活習慣の中で、見直すべきだという意見が最も多かった「メディア」についてです。

グループ別の協議では、自分たちの現状をもとに、めざす姿＝ゴールを設定して、そこに近づくためにどんな取組をするのか、それぞれが考えを出し合いました。そして最後には、自分で決めた目標や具体的な取組をカメラに向かって宣言をすることも行いました。

今、小・中学校は、「きづく、きめる、かかわる、やりぬく」という育てたい心や力を共有しながら、そこに向かうための連携、そして協働する取組を進めています。その中で、小・中学校という校種を超えた学び、今回のような同じ空間で、雰囲気を感じることのできる学びを創り出すことにより、児童生徒が相互に刺激し合い、よりよい育ちにつながることを期待しています。何かが変わる、何かが動き始めるきっかけとなりました。



